

こんぺいとう通信



教室のみなさん、こんにちは (^^)J
緊急事態宣言が解除され、教室も以前のにぎやかさを取り戻しつつあります。何事もない平穏な日々がどれだけ有り難いことなのかということ、改めて感じている今日この頃です。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
さて、すでにブログ等でもお伝えしていますが、このコロナの時期に教室として何ができるだろうと考え、新しいサービスを2つ開始しました。

1つは〈遠隔サポートサービス〉もう1つは〈オンラインレッスン〉です。前者は皆さまのご自宅にあるウィンドウズ10のパソコンを教室から遠隔操作で設定やトラブルの解決のお手伝いをするというもの、後者はテレビ電話を通じてご自宅でレッスンを受けていただくというサービスです。それぞれのサービスの詳細については、教室内のお知らせやホームページでお知らせしていますので、よろしければそちらをご覧くださいませ。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
それにしても此度のコロナ禍、ここまでの惨事になるとは正直思っていませんでした。昨年コロナが話題になったときには、「よその国はなんだか大変だな」ぐらいの認識だったのですが、よもやオリンピックが中止になるとは想像もしていませんでした。我が家の子どもの卒業式や入学式も中止になってしまい、「一寸先は闇」とはこのことかと実感しました。こんなひどいことは起きてほしくなかったし、この先二度と起きてほしくはないと強く思っています。そんな当たり前のことを申し上げた上で、正直次のようにも感じています。もしこのような事態にならなければ、上のようなサービスを始めることはなかったらろうなど。言い方を変えれば、新しいことを始めることができたのは、ある意味コロナのおかげであったのだと。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
今から十年以上前、デジタルカメラが世の中にすっ

かり普及し、一方でフィルムカメラが衰退の一途をたどっていたころ、知り合いの写真屋さんがこんなことを言っていました。「デジカメなんて、あんなものは写真じゃないよ。ただの玩具だよ」と。その方にしてみれば、それまで長年かけて積み上げてきた銀塩写真の設備やノウハウが無意味になってしまいかねない事態であり、デジカメという黒船の来航に憤りも感じていたのだらうと思います。けれども黒船の勢いはとどまることを知らず、気がつけばカメラと言えばデジカメを指すようになってしまいました。そしてそのデジカメも、今ではスマホのカメラに取って代わられてしまいました。諸行無常ですね。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
あるテレビ番組で、ロックミュージシャンの矢沢永吉さんがこんなことを言っていました。最近主流となりつつある音楽の定額聴き放題サービスについてどう思うかと聞かれ、「ミュージシャンにしてみれば迷惑な話だけど、それを言ったところでその流れが止まるわけじゃない。だからこの状況を受け入れ、その中で頑張っていくしかないと思う」。ざっとこんな内容のことをおっしゃっていました。

永ちゃん、カッコよすぎです。定額聴き放題なんて流行れば、ただでさえ売れていないCDは、ますます売れなくなるでしょう。でもそれを託っていたところで何が変わるわけではない。変えることができるのは他人ではなく自分。そんな強い意思と覚悟を感じる言葉です。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
先日、近所の居酒屋さんの前を通ったら、「たい焼き150円」の貼り紙が貼ってありました。あの居酒屋さんも生き残るために、新しいことに挑戦しているのだと思うと、ちょっと胸が熱くなりました。そして心の中で「共に頑張りましょうね」とエールを送りました。買わなかったけどね(^^) たい焼きはなあ。ごめんね。たこ焼きだったら考えるね。

